

2022/10/25

報道関係 各位
【研究発表】

AI を用いてエビデンスの発信を加速！

日本腎臓学会「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2022」で医学ガイドライン作成支援システム Doctor K を活用

(川崎医科大学 医学部 神田英一郎特任教授ら研究グループ)

【概要】

本学医学部 神田英一郎 学長付特任教授(データサイエンス・腎臓内科学)らのグループは、腎臓・高血圧内科学 主任教授 柏原直樹副学長とともに、医学ガイドラインの作成を支援する AI を搭載したシステム(Doctor K)を 2019 年に開発いたしました。

このたび、日本腎臓学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本腎臓病薬物療法学会の4学会による、「がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2022」(<https://jsn.or.jp/medic/newstopics/formember/2022-2.php>)

で正式に採用され、10月25日に公開される予定です。

作成には AI が活用されており、臨床で重要であるだけでなく、evidence based medicine (EBM)において画期的なガイドラインです。



【背景】

良質な医療を全国で均霑化^{きんてんか}させるために、各分野で診療ガイドラインが作成されています。ガイドラインの作成には、科学的な根拠(エビデンス)に基づくことが強く求められており、作成時には、まず、数千にもおよぶこともある医学論文を選別するシステムティックレビューが行われます。これまで、この作業は膨大な労力と時間が必要とされるだけでなく、重要な論文が見逃されることもありました。Doctor Kに搭載されたAIは機械学習と自然言語処理のアルゴリズムを活用し、日本語と英語の重要な論文のランキングや論文の一覧作成などの作業を支援します。さらにユーザーフレンドリーな画面により、作業効率を大幅に向上いたしました。

【今後の展開】

Doctor Kは最新のAI技術をガイドライン作成支援に活用した世界初のシステムとなります。他の疾患のガイドライン作成にも活用することが可能ですので、他学会でも幅広く活用いただけると思います。

本システムによる EBM の促進により、日本の医療の質が向上し、国民の健康福祉が増大することを願っています。

<問合せ先> 広報について
川崎医科大学 事務部
庶務課 課長 浅沼 淳
Tel 086-462-1111(代)

<問合せ先> 研究について
川崎医科大学 医学部
学長付特任教授 神田 英一郎
Tel 086-462-1111(代)